

令和4年度 第1回 富塚西小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時： 令和4年5月20日（金） 14時30分から16時45分まで
- 2 開催場所： 富塚西小学校 会議室
- 3 出席委員： 安間忠雄、井口隆夫、中村文彦、天野民雄、西村寿洋、大石一麿、神村浩子、岩淵千江、吉川恵美
- 4 欠席委員： 高橋睦美
- 5 オブザーバー： 浜松市議会議員 関イチロー、富塚協働センター 野嶋京登、前PTA会長 金原圭吾
- 6 学 校： 松山 徹（校長）、鈴木千晴（教頭）、坂口千佳（CSディレクター）
- 7 教育委員会： 鈴木陽子（教育総務課）
- 8 傍 聴 者： なし
- 9 協議事項
 - (1) 会長の選出及び副会長の指名について
 - (2) 議長の選出について
 - (3) 令和4年度富塚西小学校経営基本方針について
 - (4) 夢育やらまいか事業に対する意見書についての提案
- 10 会議録作成者 CSディレクター 坂口千佳
- 11 会議記録

司会の神村委員から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 会長の選出及び副会長の指名について

司会から、安間委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承諾した。また、その後、会長に選任された安間委員から、西村委員を副会長に指名する旨の報告があった。

(2) 議長の選出について

司会から議長を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

次に令和3年度末で退任された下記委員のうち、代表して本日出席の金原氏に校長からお礼の挨拶をした。

- ・前富塚西自治会長 高田哲夫様
- ・前西和自治会長 小澤善昭様
- ・前PTA会長 金原圭吾様
- ・前子供会校区理事 加藤美樹様

次に教育総務課の鈴木陽子氏よりご説明いただき、浜松市学校運営協議会規則の確認を行った。

第3条1：学校運営協議会を置いた学校のことをコミュニティ・スクール（以下、「CS」と記載）と呼ぶ。CSでは地域・保護者の皆様から様々な学校運営に対するご意見をいただき、それを学校運営に採用し、教育活動を充実させていくことが目的である。浜松市では本年度、144校中、130校。運営協議会は125協議会が設置され、約9割の学校がCSとなった。

第8条1:年度末に対象学校の評価を行う。

校長と職員が目標を掲げ、その目標を達成するために教育課程という計画を組んでいる。その計画を実行しながら、子供たちの育てたい力を育もうと努める。そして年度末には、それを確実に出来たかどうかを評価し、分析考察して、次年度の改善策を立てている。そこに学校運営協議会の委員にも当事者として参画していただき、最終的に先生方が立てた改善案に、それをより良くする、または後押しするなどして、学校経営を強化する仕組みが出来てくるというものである。

第8条2:年度末に委員自らの評価も行う。

第15条:本会議は原則公開で行われ、誰でも傍聴でき、会議録(要点記録概要)も学校ホームページなどで公開される。

その後、CSの理解を深める為、「浜松市のCSについて」の映像を視聴した。

(3) 令和4年度富塚西小学校経営基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校経営基本方針についての説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 開かれた学校の姿とはどのようなものなのか。保護者と学校とのかかわり、適切な距離感、相談のノウハウなどを知りたい。(安間会長)
→どんな事でも学校は把握したい。気になる事があれば、どんな小さな事でも、どんな方法でもいいので遠慮なく教えて欲しい。学校の中でも相談しやすい環境を整え、職員が組織で対応する。(松山校長)
- ・ 子供たちは、「にこきらぐん」の意味をおさえ、使っているのか。(安間会長)
- ・ この先どのような世界になるのか見当がつかないので、これからの社会を生き抜くための資質や能力までを求めているのか疑問に思う。「にこきらぐん」を重点的に教えてくだされば良いのではないかと感じる。(井口委員)
→子供たちは、「にこきらぐん」の意味をしっかりと理解し、言葉が沁みついている。今年の学校スローガンも昨年と一緒の「にこきらぐんで目指せ富西ナンバーワン！」である。目指すところは一緒だからと子供たちが選んだ。これからも「にこきらぐん」をベースに指導していく。(松山校長)
- ・ 現状の教育課程でゆとりある、かかわりのある学びはできるか(神村委員)
→本校にはCSで人材リストを作っていたいただいたゲストティーチャーという太いパイプがある。ゲストティーチャーに講演していただいたり、情報社会の今、ICT を効果的に活用し、現地に行かなくても工場見学をしたり、地域の方との交流もできるのではないかと考えている。(松山校長)
- ・ 学校で教えるマナー、家で教えるマナーをもう少し具体的にあるといいと思う。安全面では、通学路を横に広がって歩くなどの交通のマナーが出来ていない子がいるのが心配だ。(西村委員)

→学校で教えるマナーは毎年「富西小のよい子の約束」を提示している。それを基にこれからも指導を行っていくと共に、安全面について心配な通学路については、ご指摘していただき、これからも改善に努めたいと思う。(松山校長)

- ・ 子供たちが遊びに行く公園が近所がない為、遊びは家の中でゲームになってしまう。子供たちがのびのびと遊べる場所が欲しい。(吉川委員)
- ・ 富塚は新川や椎ノ木谷などがあり、自然に恵まれた素晴らしい環境の土地である。子供たちには、出来るだけ自然の中で遊んでほしい。(西村委員)
- ・ 小学生の時期に一番大事なものは、友達と遊ぶことだと思う。その友達の付き合いの中から様々な学びがあると思う。(井口委員)

次に、富塚西小の教育のために子供、職員、保護者、地域が大事にしていきたいことを伺った。

- ・ コミスク応援団を募集したところ、多くの保護者が登録してくれた。教育活動に協力的な保護者が多いと感じる。(岩渕委員)
 - ・ キャリア教育やクラブ活動に多数のボランティアが参加してくれる。そのような環境がこれからも続いて欲しいと思う。(神村委員)
 - ・ 子供が、先生にも親にも言えないことを交通ボランティアの私に話してくれる。話を聞いてくれる何でも受け止めてくれる地域の大人の存在というものが必要なのかもしれない。(大石委員)
- 子供が何かしらの悩みを抱えている場合、その子の周りの誰かが気づき、解決に導くことが大切である。そのような話を聞いた場合、聞いた方の判断によるが、学校としては知らせていただき配慮していきたい。(松山校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) 夢育やらまいか事業に対する意見書についての提案

議長の指示により、教頭から、夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他連絡事項等

教頭から、次回会議は、令和4年9月22日(木)14:30から1階会議室で開催する旨の報告があった。協議内容については、地域支援の具体化(課題と改善策)を予定とする。